

令和2年度事業報告

中野区立療育センターアポロ園

療育センターアポロ園の事業運営目的は、「障害やさまざまな発達上の課題のある子ども達が、自分のもっている力を十分に発揮し、家庭や地域の中でともに生活ができるようになるための支援をする」こととしています。

平成26年度より社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会が指定管理者として運営を始めて、令和2年度は7年目となりました。各事業評価などを分析し改善を図るとともに児童発達支援事業アンケートで寄せられたご意見やご提案などから、着実な事業の実施に向けて取り組んでまいりました。また、職員の確保・定着・育成を図り円滑な事業運営に努め、利用者サービスの一層の向上を図ってまいりました。

I 職員配置（令和3年3月31日時点）

常勤職員：園長1名・事務職1名・児童発達支援管理責任者1名・保育士4名・児童指導員3名・心理職6名・看護師1名（うち育休1名）・理学療法士1名・作業療法士2名・相談支援専門員1名 計21名（うち育休1名）

非常勤職員：心理職5名・保育士3名・児童指導員2名・言語聴覚士3名（うち育休1名）・看護師1名・事務職2名 計16名（うち育休1名）

嘱託医師：小児神経医師1名・小児科医師2名・児童精神科医師2名・歯科医師1名・水療育講師1名 計7名

II 事業実績

1 児童発達支援事業

中野区内に在住し、通所受給者証の交付を受けた児童（医療的ケアを必要とする児童を含む）に対して3クラスに分けて支援を行いました。

1日定員は40名で運営してまいりました。

- ・延利用人数 7,516人（平成31年度7,639人）
- ・利用率 66%（平成31年度68.9%）

1) 2歳児以下クラス（ラッコ）

- ・1日定員 14人
- ・10時00分から13時00分
- ・1歳児：週1日、2歳児：週2日（親子通園）
- ・利用率 48%

2) 3歳児以上クラス（コアラ）

- ・1日定員 16人
- ・10時から14時30分
- ・週5日（3・4歳児：週3日単独通園・2日親子通園、5歳児：週5日単独通園）

- ・利用率 70%

3) 個別指導クラス

- ・対象児枠 180 枠程度
- ・指導は原則月 2 回、1 回当たり 50 分程度、月曜日から土曜日に実施

① 平 日

- ・一日定員 10 人
- ・利用率 84%

② 土曜日

- ・一日定員 40 人
- ・利用率 68%

4) 保護者教室の実施

①令和 2 年 9 月 2 日（水） コアクラス保護者

テーマ：体を使って遊ぶ、学ぶ—感覚と運動の視点から—

講師：松尾 道子（作業療法士）

参加人数：9 名

②令和 2 年 9 月 28 日（月） ラッコクラス保護者

テーマ：体を通して外の世界を知ろう、学ぼう

講師：松尾 道子（作業療法士）

参加人数：7 名

③令和 2 年 9 月 29 日（火） ラッコクラス保護者

テーマ：体を通して外の世界を知ろう、学ぼう

講師：松尾 道子（作業療法士）

参加人数：4 名

④令和 2 年 10 月 13 日（火） ラッコクラス保護者

テーマ：コミュニケーションの力を育てましょう

講師：二階堂 和子（言語聴覚士）

参加人数：3 名

⑤令和 2 年 10 月 14 日（水） コアクラス保護者

テーマ：コミュニケーションの力を育てよう—基本的な構えと具体的工夫—

講師：二階堂 和子（言語聴覚士）

参加人数：9 名

⑥令和 2 年 10 月 26 日（月） ラッコクラス保護者

テーマ：コミュニケーションの力を育てましょう

講師：二階堂 和子（言語聴覚士）

参加人数：9 名

⑦令和2年11月30日（月）パンダクラス保護者

テーマ：発達支援を受ける上で保護者が知っておくと良いこと（発達の捉え方・療育機関との付き合い方）

講師：大正大学心理社会学部教授 玉井 邦夫氏

参加者：19 名

⑧令和3年3月15日（月）コアラクラス保護者

テーマ：先輩ママの話を聞こう

講師：江副 育代

参加人数：10 名

2 療育相談事業

中野区内に在住する未就学児を対象としており、発達上の課題や障害があると思われる児や保護者の相談を受けアセスメントを行い対応方法の提案をしました。また、当園の児童発達支援事業、個別指導の初期インテークとして処遇方針を決定し提案しました。

・療育相談件数 192 件（平成 31 年度 148 件）

3 保育園等巡回訪問事業

発達上の課題や障害があると思われる子どもが在籍する保育園・幼稚園などに、巡回訪問担当者が定期的に巡回し、対象児及び保護者への対応を保育者に対して提案、助言を通して支援を行いました。

・訪問延べ件数 300 件（平成 31 年度 437 件）
・対象児延べ人数 1,351 人（平成 31 年度 1,856 人）
・訪問園数 67 園（平成 31 年度 62 園）

4 障害児相談支援事業（相談支援事業所アポロ）

児童福祉法に基づく「相談支援事業所」です。

・開設日 : 平日月曜日から金曜日
・開設時間 : 9 時 00 分から 17 時 00 分
・契約件数 107 件（平成 31 年度 100 件）
・障害児相談支援援助 210 件（平成 31 年度 163 件）
・継続障害児相談支援援助 109 件（平成 31 年度 72 件）

5 一時保護事業

中野区内に在住する小学生以下の発達障害のある児童の保護者が、対象児を介護することが困難になったときに、児童を一時的に保護し、当事者の福祉の増進を図

りました（医療的ケアの必要な児童も受け入れ、緊急時の対応も行います）。

月曜日から土曜日 9 時 00 分から 18 時 00 分（但し土曜日は 16 時 00 分迄）

- ・利用件数 : 177 件（平成 31 年度 240 件）
- ・利用日数 : 136 日（平成 31 年度 167 日）
- ・医療的ケア受け入れ件数（再掲） : 0 件（平成 31 年度 4 件）

6 おもちゃライブラリー事業

おもちゃ及び関係図書を、発達促進と福祉の増進に寄与することを目的に、療育センターアポロ園内におもちゃライブラリーを置き地域開放をしました。障害児（者）だけでなく就学前の健常児も利用しました。

（4 月から 6 月は新型コロナウイルス感染防止のため休室）

- ・利用人数 : 343 人（平成 31 年度 660 人）
- ・貸出点数 : 146 点（平成 31 年度 516 点）

7 児童発達支援事業利用児のきょうだい対応保育人事業

児童発達支援事業では、通園児への日常生活における基本動作や集団生活への適応指導など、療育を通して保護者も含め実施しています。通園児と一緒にきょうだい児が来園した時、きょうだい児に対応する保育人を確保してきょうだい児を支援しました。

- ・登録児 : 9 人（平成 31 年度 5 人）
- ・利用延べ件数 : 32 人（平成 31 年度 41 人）

8 中野区立療育センターアポロ園地域資源啓発事業

発達障害児に対する正しい理解と適切な対応を促進する目的のもと、地域の私立幼稚園や保育園の保育者等を対象に学習会を開催しました。また、職員研修の一環としても活用しました。

<第 1 回>

- ・開催日 : 令和 2 年 10 月 23 日（金）
- ・テーマ : 「感覚統合の視点から子どもを理解する」
- ・講師 : よこはま港南地域療育センター 松本 政悦氏（作業療法士）
- ・参加人数 : 29 人

<第 2 回>

- ・開催日 : 令和 2 年 11 月 6 日（金）
- ・テーマ : 「感覚統合の視点から子どもを理解する」
- ・講師 : よこはま港南地域療育センター 松本 政悦氏（作業療法士）
- ・参加人数 : 27 人

以上